

## 徳島県病院事業経営計画～安心医療・とくしまを支える新県立病院プラン～ （素案）について

### 1 計画策定の趣旨

県立 3 病院の改築整備による医療機能の充実を踏まえ、地域医療構想など今後の病院経営を取り巻く環境に対応していくため、県立病院における「新公立病院改革プラン」として、安定的かつ継続的な経営基盤構築を目指した取組指針を策定する。

#### ※「新公立病院改革プラン」について

平成 27 年 3 月に総務省から「新公立病院改革ガイドライン」が示され、病院事業を設置する地方公共団体は、「経営の効率化」・「再編・ネットワーク化」・「経営形態の見直し」・「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」の 4 視点に立った「新公立病院改革プラン」を、平成 27 年度又は平成 28 年度中に策定することが求められている。

### 2 計画期間

平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間

### 3 計画の概要

#### (1) 地域医療構想を踏まえた各県立病院の役割（2025 年の将来像）

##### ① 一般病床機能の在り方

- **中央病院** 「本県医療の中核拠点」として、引き続き 高度急性期機能 を担う
- **三好病院** 救命救急センターを有する病院として、引き続き 高度急性期機能及び急性期機能 を担うとともに、西部医療圏域で不足する 回復期機能 へ一部転換
- **海部病院** 2 次救急医療を提供する病院として、引き続き 急性期機能 を担うとともに、南部 II 医療圏域で不足する 回復期機能 へ一部転換

##### ② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- **中央病院** 関係機関との連携を図り、患者の早期在宅復帰を促進するとともに、在宅医療実施機関を支援
- **三好病院・海部病院** 在宅等への復帰に向けたリハビリテーションを実施するとともに、増悪時の受け入れや訪問診療を実施

(2) 再編・ネットワーク化（総合メディカルゾーン本部を核としたグループ力の強化）

①総合メディカルゾーン本部における連携

医療人材の確保と育成、医療情報の連携、患者の利用環境の整備等において、更なる連携や効果的な機能分担を進める。

②西部医療圏域における連携

三好・三野・半田の公立3病院間の「地域医療構想を踏まえた連携の在り方」についての協議の場を作り、更なる機能分担や連携の強化について検討する。

③南部医療圏域における連携

新海部病院における「地域医療研究センター」の整備を進めるとともに、海部・那賀地域の公立医療機関との今後の相互協力や連携の在り方について協議を進める。

④徳島県鳴門病院との連携

物品の共同購入や人事交流など、効果的な連携・協力を一層推進するとともに、4病院による更なる一体的な医療提供体制の構築を目指して、協議を進める。

⑤全体的事項

再編・ネットワークの推進にあたり、平成27年9月の医療法改正により創設された地域医療連携推進法人制度の活用について検討する。

(3) 経営形態の見直し

引き続き現経営形態で経営基盤の強化に取り組む。

(4) 経営基盤の強化策

①医療機能の分化と連携の実現に向けた取組み

- 中央病院 「ホスピタルカー」の運行による重症患者の病院間搬送を実施
- 三好病院・海部病院 地域に不足する機能への取組みを検討
- 3病院 地域医療機関・介護施設等に対する支援を充実
- 3病院 精神科医療ニーズの高まりに対応

②経営の効率化に向けた取組み

i) 収入確保の強化

- 中央病院 高度急性期機能の強化により新規患者数の増加を推進
- 3病院 地域枠医師の確保・育成を推進
- 本局・中央病院 中央診療部門医師の確保・育成を推進

ii) 経費削減の強化

- 3病院 効率的な委託契約を推進
- 3病院 材料・医療器械等の購入費用を低減

iii) 効率化の推進

- 3病院 医療情報システムの統一化及び総務事務のICT化を推進
- 本局・3病院 事務部門のスリム化と専門性の強化を推進

(5)収支計画



